

ツキノワグマの大量出沒に関する調査報告書正誤表

箇所	誤	正
p1 下から 6 行目	「年には <u>44</u> 件と増加した」	「年には <u>33</u> 件と増加した」
p11 表2-7	・ 石川県の2004年の有害捕獲数 <u>182</u> (3)	<u>181</u> (3)
”	・ 3 県合計の2004年の有害捕獲数 <u>546</u> (91)	<u>545</u> (91)
p11 上から 1 行目	「～北陸 3 県では <u>546</u> 頭～」	「～北陸 3 県では <u>545</u> 頭～」
P12 上から 5 行	「～個体数調査を全県 <u>6</u> 箇所～」	「～個体数調査を全県 <u>10</u> 箇所～」
p13 上から 2 行目	「～12月までの有害鳥獣捕獲が <u>182</u> 頭～」	「～12月までの有害鳥獣捕獲が <u>181</u> 頭～」
p14 上から 15 行目	「～死亡事故は <u>0</u> 件であった～」	「～死亡事故は <u>1</u> 件であった～」
p14 上から 16 行目	「～過去 2 年間の倍以上の <u>111</u> 件が～」	「～過去 2 年間の倍程度の <u>94</u> 件が～」
p54 表5-10		
[石川県辰口町]		
(10 月の欄)	<u>10</u>	<u>9</u>
(総計の欄)	<u>12</u> (0)	<u>11</u> (0)
[石川県小計]		
(10 月の欄)	<u>85</u> (3)	<u>84</u> (3)
(総計の欄)	<u>182</u> (3)	<u>181</u> (3)
[総計]		
(10 月の欄)	<u>277</u> (52)	<u>276</u> (52)
(総計の欄)	<u>546</u> (91)	<u>545</u> (91)
p18 下から 1 行目	「～有害鳥獣捕獲数も <u>546</u> 頭に達した」	「～有害鳥獣捕獲数も <u>545</u> 頭に達した」
p84 下から 8 行目	「～有害鳥獣捕獲されたツキノワグマの体毛～」	「～有害鳥獣捕獲 <u>個体</u> や交通事故 <u>個体</u> から採取された体毛～」
p88 下から 2 行目	「10月末から冬眠中は成長がとまり、翌年の 6 月から換毛期の 7 月から 9 月まで再び成長する。」	「10月末には成長がとまり、それ以上成長しない。」(「冬眠中は成長がとまり、翌年の 6 月～再び成長する。」を削除)
p102 上から 18 行目 (文献)	水上留美子・泉山茂之・後藤光章・林秀剛・楊宗興 (2004) ツキノワグマの体毛から食歴を読み取る - 炭素・窒素安定同位体を用いて - . 日本生態学会講演要旨 .	水上留美子・岡野司・八代田千鶴・小松武志・楊宗興・林秀剛・坪田敏男 (2004) 安定同位体解析によるツキノワグマの体毛の成長過程の解明と食性解析への応用 . 日本哺乳類学会 2004 年度大会講演要旨 .